令和７年度　学校運営評価

区分	番号	評価項目	評価の視点	平均	対策
1	①	学校の教育理念・目的を定め、それを実現するための 組織目標を策定しているか。	①組織目標は、教育理念・目標を踏まえて策定し、「医師会」の目標との整合性がある。	2.8	①～③整合性のある組織目標を再設定し、学校運営評価の結果を反映した計画を策定し運営する。 ④教職員と共有し理解を促進する。
	②		②組織目標は、学校の特性や前年度評価を生かして策定している。	2.0	
	③		③中・長期の組織目標も策定している。	2.0	
	④		④組織目標を職員が理解している。	1.8	
2	①	コンプライアンスを重視した学校運営がなされているか。	①法令や倫理を遵守し、適切な学校運営がなされている。	2.7	①②④コンプライアンスについて教職員研修等で理解を深める。コンプライアンスについての相談体制を明確化する。 ③内部評価の標準化を進め、外部評価導入に向けた情報収集を行う。学生評価を実施し、学校運営に反映する。
	②		②個人情報の保護について十分な対策を講じている。	2.8	
	③		③外部委員を含めて学校運営評価を実施し、結果を公表している。	1.8	
	④		④学生や職員等の人権を十分に配慮している。	2.5	
3	①	組織全体でチーム力を発揮した取組を行っているか。	①運営組織や意思決定の仕組みが明確化され、有効に機能している。	2.8	①②④課題や情報の共有・意思決定の仕組みを整備する。 ④担当間の連携を継続し、協働的な運営体制を確立する。
	②		②組織の課題を職員が共有し、解決に向けて協力して対応する仕組みがある。	2.8	
	③		③組織内でタイムリーな情報共有を図っている。	3.0	
	④		④担当間の連携・調整、コミュニケーションを円滑に行っている。	3.2	
4	①	教育目標を明示するとともに、卒業時の到達状況を分析しているか。	①看護師として身につけておくべき資質を、知識・技術・態度の側面から明文化している。	3.3	②～④教育目標・学年目標の説明を継続し、到達状況の評価と教員間共有の仕組みを整える。卒業時到達度評価の方法を明確化し、改善に活用する。
	②		②教育目標を学生に説明する機会を設けている。	2.8	
	③		③教育目標の到達状況を教員間で共有している。	2.2	
	④		④教育目標に照らし、卒業時の到達度を評価している。	2.5	
5	①	教育内容は、教育理念・教育目標と一貫性があり、時代の要請に応える内容になっているか。	①教員全員で教育課程を検討する場を設けている。	2.5	①教育課程評価の内容・方法の検討と実施結果を教職員で共有する。 ②社会の変化と地域性を踏まえた学校独自の内容であることを再認識する。
	②		②時代の要請に応じて、必要時に修正している。	3.0	
	③		③学校の独自性が盛り込まれている。	2.8	
	④		④教育課程の評価を行い結果を次年度に反映させている。	2.3	
6	①	体系的なカリキュラム運営が行われているか。	①授業計画(シラバス)を作成し、公表している。	3.2	①授業計画の作成・公表や授業内容の工夫は継続して実施する。 ③授業評価アンケートを実施し、授業改善につなげる。 ④授業計画の見直しを継続し、学生レベルに応じた指導方法の改善を進める。
	②		②効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整している。	2.8	
	③		③授業評価アンケートを実施し、講義・実習指導等の改善に役立てている。	2.7	
	④		④授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善している。	3.5	
7	①	評価について公平性・妥当性が保たれているか。	①評価基準を公表している。	2.8	①③評価の妥当性を検討する場を設け、評価基準・評価方法の説明を継続する。 ②④学生の納得性を高めるための説明とフィードバック体制を継続する。
	②		②評価方法及び評価結果を学生に説明している。	2.8	
	③		③評価の妥当性について検討する場がある。	2.2	
	④		④学生の納得性を高める努力している。	2.5	
8	①	実習時の安全体制が整っているか	①医療安全教育を体系的に実施している。	3.0	①④インシデント事例の分析をし、共有する。 ②適宜感染予防対策の見直しをする。 ③災害対策を明確にする。
	②		②実習における感染予防対策、職業感染予防対策を実施している。	3.5	
	③		③実習施設と協議し、安全な実習環境の整備に努めている。	3.3	
	④		④実習を振り返りながら安全意識の向上を図っている。	3.0	
9	①	学生の単位取得にむけた支援を実施していけるか。	①学生の単位取得上、困難となる要因を分析している。	3.3	①②困難要因を担任が把握し、自己分析を促す。 ③教務ミーティングで改善プランを共有・検討し、全教職員で支援する。 ④学習会について判断基準を検討し、実施を相談する。
	②		②学生が未修了となった理由を自己分析するよう指導している。	3.0	
	③		③学生の自己分析結果に基づき対応策を学生と検討し、指導している。	3.3	
	④		④成績不振者を対象として定期的な学習会等を実施している。	2.3	

10	①	国家試験の合格率が100%となるよう、教職員一丸となって取り組んでいるか。	①1年次から3年間を通して計画的に国家試験対策に取り組んでいる。	3.2	①④1年生：国家試験ORと模試を計画・実施、振り返り、長期休暇の課題 2年生：模試の計画と実施、振り返り、長期休暇の課題 3年生：模試・振り返り、ゼミ、学習会等 を国家試験対策の基準とする。学年の傾向も把握し、自主性を大事に支援する。 ④外部ガイダンス等の活用は学生に合わせたものを選択し、組み込むこともある。
	②		②国家試験の合格率が全国平均を上回っている。	3.0	
	③		③国家試験の合格率が100%である。	1.8	
	④		④学校独自の工夫をしている。	2.8	
11	①	退学者の低減を図っているか。	①未修了科目を持つ学生への継続的な支援を行っている。	3.3	①単位制の説明を適宜行い、継続して相談に応じる。 ③退学者の理由の分析（学習・生活・経済・健康等）から改善策を考え指導に生かす。
	②		②定期・個別面談で状況を把握し、適宜相談に応じている。	2.8	
	③		③退学者の状況を把握・分析し、指導に生かしている。	2.7	
	④		④退学者は全学生の3%以下である。	1.8	
12	①	入学応募者確保に努めているか。	①各准看護学校に出向き、学校案内を行っている。	2.8	②HPやパンフレットに国家試験合格率、就職状況、進学実績など、公表可能なデータから段階的に公開を始める。
	②		②就職や国家試験合格、進学の状況を公表している。	1.7	
	③		③学校説明会以外に個別の学校見学等に対応している。	3.0	
	④		④学校説明会では、独自の工夫がある。	1.7	
13	①	就職・進路支援に取り組んでいるか。	①就職・進路支援について、計画的に取り組んでいる。	2.5	①年度初めに就職・進路支援計画を策定し、学生に説明する。 ②④教務が学生の状況を共有する機会を作る。学生の特性、希望、課題を多面的に把握し、進路支援の方向性を統一する。 ③④県内就職率の向上を目指し、医療機関に対して学校紹介や卒業生の活躍状況の情報提供を開始する。病院・施設の求人担当者との連携を強化し、本校の教育内容や学生の特性を積極的に発信する。
	②		②就職・進路支援について、教職員間で連携した支援を行っている。	2.5	
	③		③卒業生の県内就職率を高めるよう努めている。	2.5	
	④		④学生の特性を生かすように、個別の支援を行っている。	3.2	
14	①	卒業生への支援を行っているか。	①卒業生の就業継続への支援を行っている。(ホームカミングデイ等)	2.0	①卒業生の声を聞く機会を設ける。 ②卒業時に卒業生も図書室利用可能であることを確実に周知する。 ③既卒者・中途退職者の相談窓口（担当者・連絡方法）を明確にし、対応が可能であることを卒業時に周知する。
	②		②卒業生も図書室を利用することが可能である。	3.3	
	③		③既卒者、中途退職者に対し就職相談に応じている。	2.8	
15	①	健康管理面、経済面、精神面からの学業継続支援体制が整っているか。	①奨学金、授業料減額免除など経済的支援について情報を提供し、相談に応じている。	3.5	①経済的支援では、情報提供と相談対応を継続する。 ②カウンセラーの雇用を促進する。 ③学校医の役割を明確化し、健康診断後の相談窓口を教職員に周知する。 ④個々の学生の状況に応じた支援を継続し、支援内容を共有する。
	②		②カウンセラーの存在、役割を学生に周知している。	1.7	
	③		③健康診断後の指導・相談体制がある。	2.7	
	④		④個々の学生の状況に応じた支援を行っている。	3.2	
16	①	学生の自主的な活動を支援しているか。	①学生自治会の活動を支援している。	1.2	②③学生の自主的活動に関する相談窓口を明確にする。
	②		②サークル活動など自主的な活動の支援体制が整っている。	1.5	
	③		③サークル活動などの自主的な活動の発表の場を設けている。(学校祭等)	1.5	

17	①	学校運営に学生の意見が反映されるように努めているか。	①学生の意見や要望を聞く場を設けたり、意見箱を設置している。	2.5	①学生の意見・要望を受け付ける場（意見聴取の機会）の多様化を検討する。 ②③必要に応じて学年全体へ共有する運用を整える。
	②		②意見要望への回答を必要に応じて公開している。	2.3	
	③		③意見や要望に基づいた改善を図っている。	2.8	
18	①	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進行管理を行っているか。	①年間計画に基づき計画的に予算・事業執行を行っている。	3.2	①年間計画に合わせ、予算・事業執行の管理を行う。 ②設備備品の点検や確認を計画的に実施する。 ③経費削減の方針を検討する。
	②		②計画的に設備備品の充実などを行っている。	3.0	
	③		③組織的に経費の削減対策を行っている。	3.0	
19	①	災害など非常時の危機管理体制が整備されているか。	①総合防災訓練等を年1回実施している。	2.8	①医師会等の関係機関と連携し、避難訓練と要支援者援助を組み合わせた防災訓練を年1回実施する。 ②教職員を対象とした防犯・交通安全に関する研修（不審者・熊等対応、SNSトラブル、特殊詐欺・闇バイト対策等）を実施し、学生向けの講義を検討する。 ③現行の危機管理マニュアルの有無と内容を確認し、実習時の危機対応を含めて見直しを行う。 ④必要備蓄品を整理し、個人備蓄を含めた備蓄体制の整備方針を策定する。
	②		②防犯・交通安全対策を行っている。	1.8	
	③		③危機管理マニュアルを作成し、随時見直ししている。	1.5	
	④		④学生用の災害時の食糧・飲料水、簡易トイレや寝具を備蓄している。	1.5	
20	①	施設設備及び教材が整い、安心・安全が確保されているか。	①耐震基準を満たしている。	3.2	③④教材・施設・設備の整理整頓及び定期的な点検・整備を行い、安全な教育環境を整える。
	②		②指定規則に則った施設・設備・教材がある。	3.7	
	③		③教材・設備等の安全性を確保するための工夫・改善を行っている。	2.8	
	④		④施設・設備の安心・安全のため、定期的な点検・整備を行っている。	2.7	
21	①	学生の自主的な学習の場を確保しているか。	①学生のための福利厚生施設・設備がある。	2.2	②図書や教材の古いものは内容を検討し、入れ替えを計画する。 ③学生が自主的に学習や看護技術練習に取り組めるよう、学習環境や教材の整備の検討をする。
	②		②図書室は利用しやすく学生に十分活用されている。	3.2	
	③		③学生が自主的に看護技術練習をするための場と教材が整っている。	2.8	
22	①	教員は、看護教育力向上に努めているか。	①看護教育力向上のために研鑽の取組を行っている。(学会参加等)	3.0	①③教員が相互に学び、研鑽できる機会を検討する。予算に応じて要相談する。 ②授業参観や研修等の実施方法を検討する。
	②		②授業参観・授業公開により能力向上を図っている。	1.5	
	③		③臨床看護研修や研究調査活動に計画的に取り組んでいる。	1.7	
23	①	教員の能力向上に対する取組を支援する環境があるか。	①学校の抱えている課題を踏まえた職場内研修を行っている。	2.2	
	②		③教職員の要望を踏まえた研修を行っている。	2.3	
	③		②他校の研修に参加できるしくみがある。	2.3	
	④		④学会、研修等に参加した成果を他の教職員に還元している。	2.8	
24	①	学校をPRするために積極的な広報活動をしているか。	①前年度の評価を踏まえた広報計画を年度当初に策定している。	2.0	①前年度評価を踏まえた広報計画を検討し、教職員間で共有する。 ②ホームページを適宜更新できるよう、担当者・更新機会を明確化する。 ③学校説明会（小規模・体験型）の内容・方法を検討する。 ④HPやSNSで、行事・学生の学び・卒業生の声などを発信できる仕組みを検討する。
	②		②ホームページを定期的(年6回程度)に更新している。	2.5	
	③		③学校説明会参加者を増やすための工夫を図っている。	2.2	
	④		④学校独自の広報活動に努めている。	2.2	
25	①	地域社会の一員として、貢献しているか。	①地域住民を対象にした公開講座を年1回実施している。	3.2	①地域住民も参加できる特別講義として内容を検討する。 ②地域・災害ボランティアへの安全な参加を検討する。 ③潜在看護師の再就業支援について、相談対応を検討する。 ④医師会館の活用、地域の祭り・イベントへの参加など、学校独自の地域活動を検討する。
	②		②地域のボランティア活動への参加を促している。	2.3	
	③		③潜在看護師の再就業支援を行っている。	1.5	
	④		④学校独自の地域社会活動に努めている。	2.2	